

広報けいせい

1月
2026

粘土のお餅
いろいろな形に作ったよ

お餅をに見立てた粘土
どんな作品になるかな？

特集

恵正福祉会
法人設立記念日

法人設立記念特集
これまでの法人の歩み
これからの法人のビジョン

Keisei-fukushikai

社会福祉法人
恵正福祉会



この冊子は法人ホームページのブログ「広報けいせい」の記事を基に作成したものです。
左のQRコードからブログをご覧ください

粘土のお餅で・・・

とうかいどう保育園

年が明けて2026年になりました。どの施設も新年の飾りつけや制作物が飾られていて、新しい年になったんだと感じさせられます。

そんな中、とうかいどう保育園に行った時に1階のランチルームで子どもたちは何か手作りにしているところに出くわしました。

グループで何かしているお友だちもいれば、一人で黙々と作業しているお友だちもいます。それぞれに取り組み方は違うようですが一所懸命になっています。

先生に聞いてみたところ今朝はお



オリジナルなお餅を作ってみよう

餅つきをしたようで、その延長で白い粘土をお餅に見立てて自分たちのお餅を作ろうということになったようです。

皆んなで寄り添って作っているグループがありました。こちらのグループのお友だちは「完成するまで秘密!



」ということで絵本で隠しながら作っています。

「見てもいいよ」ということだったので特別にみさせてもらいました。とてもカッコイイ作品ができていましたよ。

ひとりで淡々と作成しているお友だちも何人かいました。何を作っているのか聞こうと思ったのですが、すごく集中していたので、声かけしたら申し訳ないかな・・・と思って遠巻きにみるだけにとどめました。

なんだか素敵な作品が作られていましたよ。

同じ素材ですが、作るお友だちによって出来上がる作品は違ってきますね。自分たちの想像するものを形にしていくってとても楽しいことだと思います。

出来上がった作品の数々をみると子どもたちの豊かな発想力が現れていて「すごいな」と感心してしまいました。



伝票の端にある切り取り線から切り離します。簡単なようですが、力を入れすぎると本体まで切れてしまうので慎重になります。



洗濯・乾燥が終わったタオルを丁寧にたたんでいきます。とにかく量が多いので淡々と作業していきます。



今日1日のタイムスケジュールが分かりやすく表示されています。



廊下には願い事が書かれた木が出現!! 今年1年間の目標が書かれていました。みんなそれぞれにやりたい事、欲しいものなどたくさんあるようですね。

新年も一所懸命作業します

わーくさぽーと

年が明けて初めて「はーとさぽーと阿久和」へ行きました。

『こんにちは〇〇です』『〇〇さん、この前来た?』『クリスマス会かな? 来たよ』『だよね覚えてるよ』いや～、覚えていてくれてありがたいです。

今日もいつもの通りの「はーとさぽーと阿久和」です。

ちょうど休憩時間が終わったタイミングだったようです。休憩が終わり再び作業している姿を見ると、

「〇〇さん、頑張ろう!!」といってポンと背中をたたいてくれました。

とても嬉しかったです。なんか、急に仕事のことで迷いが消えたような気がしてきました。

そうなんです、難しく考えなくていい、とにかく頑張るって仕事しよう!! 貴重なことを教えていただき感謝です。

はーとさぽーと阿久和は生活介護事業なのですが、利用者の

来ていただいただけでも「ありがとう」の感謝です

安定が課題となっている部分が多いです。

「とりあえず来ようよ」「気が向かない時はくつろいで大丈夫だよ」絶対に来て作業しなければならないということはありません。

誰だって、今日は何となく仕事したくない、という時があるでしょう。なのではーとさぽーと阿久和では来ていただいただけでも、感謝だと思っています。

「タイパ」の時代 クリスマス会& 忘年会

グループホーム りゅうりゅう

忘年会やクリスマスといったイベントが多い12月。りゅうりゅうのご利用者はお仕事をしているので、施設イベントで何度も集まっていたのは難しいです。

そこで今流行りの? 「タイパ」つまりタイムパフォーマンスということで、クリスマス会と忘年会を一緒にしてやっておこう、という企画になりました。

クリスマスの雰囲気漂う中で、忘年会らしいメニューが主になって並んでいます。和洋折衷な感じで楽しそうです。

普段はお仕事頑張っている皆様。働くということは楽なことではないですね。誰だって仕事をしていると色々なことが起こりますからね。楽しいこともあれば、嫌なことだってあると思います。

みんな頑張っているんです。そのぶん今日は楽しく交流できます。沢山食べて飲んで。楽しいひとりで嫌なことは忘れちゃいましょう。

今回はクリスマス会&忘年会という企画でしたが、それはある意味きっかけであって、普段お仕事されているご利用者の皆様と交流をして楽しいひとりを過ごすこと、その中でお互いに信頼関係を強めていくことが目的なんだと思いました。

朝、りゅうりゅうへお伺いすると、いつものバスが行ってしまった、と言って戻って来られる場面に出くわすこともありました。職員は丁寧に対応して、次のバスで出かけていきましたが、利用者との信頼関係の中でこういうサポートができるのではないかと思います。



「クリスマス会と忘年会を一緒に」というだけあって、料理も和洋折衷、いろいろなものがあって楽しめました。



おしぼりタオルを巻きます

介護老人保健施設恵の杜

「桜」ユニット

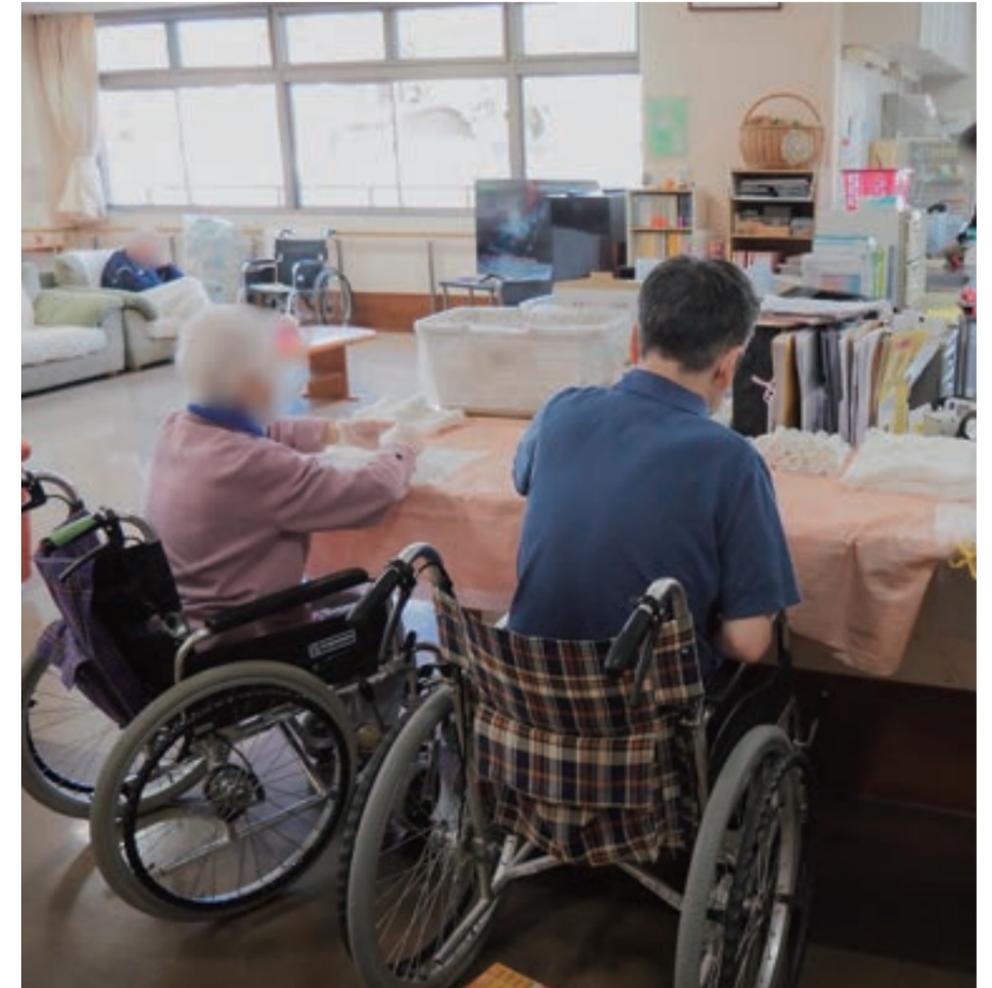
桜ユニットは4人部屋になっており、全部で10室40名定員となっています。春になると敷地内に植えられている桜の花がよく見えます。

リビングからお花見ができます。



サービスステーション

看護師や介護士が常駐しています。サービスステーションは車椅子利用の方にちょうど良い高さのテーブルがあり、職員とお話できます。



おしぼりタオルを一つづつ丁寧に折りたたんでいます。手作業をすることが良い結果に繋がっています。

昼前ごろに介護老人保健施設恵の杜の2階「桜」フロアにいきました。そろそろ昼食ということもあって、多くの方がリビングで過ごされていました。リビングに隣接するサービスステーションでは職員が様々な対応をしていましたが、ふと目をやるとご利用者の中の数名が何か作業をしておられました。見てみるとおしぼりタオルを巻いているようです。

手作業で指を動かして一つづつ丁寧に折りたたんでいくという作業が良い結果に繋がっているようです。皆様、黙々と作業をされていて、折りたたまれたタオルが次々に重なっていきました。

恵の杜でおしぼりタオルを手にする機会があった是非思い出してください。

すまいるスクールで 見つけたよ!

放課後児童健全育成事業
すまいるスクール



職員一人ひとりが、日々の活動中に見つけた子どもたちの『光る行動』を、感謝を込めてメッセージカードに記し、掲示しているすまいるスクールがあります。子どもたちが大人の承認と信頼を得る経験を重ねることで、大人に対する信頼が深まり、すまいるスクールが「安心して過ごせる居場所」になれば良いですね。



あるすまいるスクールの廊下には、子どもたちのための「ポスト」が設置されています。これは、日々の願いや要望、ちょっとした気づきを自由に届けることができる場所です。大人に直接話すのは少し緊張するという子ども、このポストを通じてなら自分の気持ちを伝えることができます。子どもたちの「意見を表明する権利」を大切に、一人ひとりの声にしっかりと耳を傾けるための、私たちの取り組みの一つです。



すまいるハウスというのがあります。一体どういうものなのかというと...

すまいるハウスは、段ボールで囲まれた秘密基地です。囲まれていることそれ自体や、外からの情報が遮断されることで、中にいる子どもは安心して過ごすことができます。包囲安心効果と呼ぶそうです。心と体を「安心モード」に切り替えてくれる人気の遊びの一つです。

壁面に「いしやきいも」の可愛い装飾を見つけました。ほかほかの湯気が立ち上っている姿に、見ているだけでなんだか心までポカポカと温まる気がします。優しく暖かな空間に癒やされました。



クリスマスの飾りをみんなで作れるように、折り方を作ってくれました。実際に作っている子どもたちの説明なので、とても分かりやすくまとめられています。この説明を見ているだけでも楽しいですね。



サンタクロースやベルの作り方もありました。手作りのクリスマス、盛り上がっていますね。



完成した作品の数々がすまいるスクールの窓に飾られています。とても和やかな雰囲気になりますね。



放課後等デイサービスえがお

今年初めてののお出かけです

放課後等デイサービスえがおでは、冬休みなど学校休業日は1日開所をしています。1日開所の時は皆さんでお出かけするようにしています。今回はお台場にあるおもちゃ店やペットショップに出かけてきました。

子どもたちの目が輝いています!! 展示してあるおもちゃの数々に食い入るように見つめている姿。「すげーよ!電車が走っているよ!」「こんなにたくさんミニカーを見たのは初めて!」そんな子どもたちの心の声が聞こえてきそうです。

ここはお台場にあるおもちゃ店です。見たことないくらい沢山のミニカーが並べられています。ミニカーが走る道路も作られていて走らすこともできそうです。

ちょっと別の場所では電車が走る線路が作られていて箱庭のように山の合間に線路が続いています。まるで本物のようでびっくりです。その後、ペットショップにもいきました。ペットショップではワンちゃんがおもちゃをくわえて遊んでいました。最初は本物のワンちゃんにちょっとびっくりしたかな?

「今日はおもちゃのお店と、ペットのお店に行ったんだよ!」「電車も走っていたよ。あの線路は

どうやって作ったんだろう。」「その後はワンちゃんがたくさんいたんだよ!」「ボールをくわえて遊んでいてとても可愛かったの!」

きっと、そんな風に思っているかもしれませんね。放課後等デイサービスえがおではこれから色々なところに外出して、子どもたちが様々なものに触れ合う機会を作っていきたいと思えます。



特集

法人設立記念日

これまでのあゆみ、これからのあゆみ

2026年1月6日

社会福祉法人恵正福祉会
理事長 相澤 隆二

社会福祉法人恵正福祉会は「すべての人と共に歩む」という理念を掲げて平成16年1月6日に法人設立し、法人設立20年を迎えました。これをご利用者、ご家族、職員、地域の皆さまのご理解とご協力のおかげであり、感謝申し上げます。法人認可までには横浜市と協議と申請に約2年、介護老人保健施設恵の杜も法人認可申請と同時に協議を始め、開設までに工事期間を含め約3年後の平成17年4月に開設認可を頂き、介護老人保健施設恵の杜と通所リハビリテーション恵の杜を開設しております。

恵の杜は開設時より、障がい者雇用を積極的に進め、初年度には約10名の障がい者を雇用していましたが、平成19年に障害者自立支援法（現在の障害者総合支援法）が施行されたことにより、障害者就労移行支援と障害就労継続支援A型事業所のわーくさぼーと恵の杜を介護老人保健施設恵の杜内に設置し洗濯清掃作業を中心とした事業を開設しました。

病院から在宅への中間施設である恵の杜を運営していく中で、生活の場である特別養護老人ホームが必要と考え平成20年に泉区に横浜で一番小さい定員40名のユニット型特別養護老人ホームめぐみを開設しました。

横浜市で高齢者と障がい者の事

業運営していましたが、平成22年に品川区で認可保育園運営の話があり、品川区と平成22年6月ごろより協議を始めましたが、品川区との協議の中で、平成23年4月に開所することになり、約10ヶ月で申請と改修工事を完了させる過密なスケジュールでした。工事中の平成23年3月に東日本大震災があり、備品の納期の遅れや工事完了及び各種検査がギリギリまで遅れる状況で、平成23年4月に一部備品がない中、とうかいどう保育園を開所しました。

障がい者支援を行なっていく中で、安定した生活が安定した就労につながると考え、平成24年1月泉区に障がい者グループホームりゅうりゅうⅠ、平成26年3月瀬谷区に障がい者グループホームりゅうりゅうⅡ・Ⅲを開設しました。また平成25年5月にグループホームりゅうりゅうⅡ・Ⅲの隣に高齢者施設からの洗濯物のクリーニング作業を中心とした障害者就労継続支援B型事業のわーくさぼーと阿久和を開設しました。

平成27年4月にわーくさぼーと阿久和と同敷地内にあった、NPO法人が運営する高齢者グループホーム恵の家（現在は廃止）と令和2年11月に大和市にある障がい者グループホームおれんじハウスを恵正福祉会に移行し運営をしております。

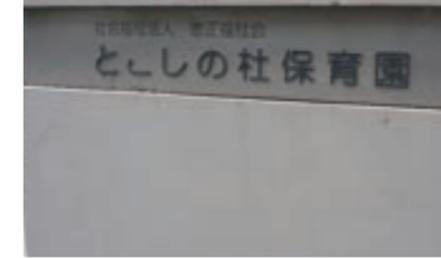


平成26年に品川区内で新規保育園の話があり、開設申請と改修工事を行い、平成28年にとごしの杜保育園を開設しました。品川区では主に児童分野の事業を運営していることから、品川区独自の児童健全育成事業である、すま

いるルスクールを運営している関係法人から移行の話があり、品川区の簡易プロポーザルを経て、平成31年4月に5校、令和元年4月に1校を追加し全6校を受託しております。現在は5校の受託しております。また、品川区の荏原地区に令和元年10月に障がい児・者を対象とした特定相談支援事業所えがおと重症児を対象とした放課後等デイサービスえがおを開設し運営をしております。

また、横浜では障がい者の就労等の支援を行なっておりますが、総合的な計画・支援が必要であることから、平成4年に瀬谷区に障がい者を対象とした相談支援事業所けいせいを開設し地域の方の相談支援を行なっております。また地域に向けて令和7年に高齢者の訪問リハビリテーション恵の杜も開設しました。

この20年間で多くの事業を展開し運営をしておりますが、諸般の事情により統合、廃止、変更した事業もあり、取り巻く環境の変化に



より、安定した法人運営や事業継続をしていく難しさを実感することも多くありますが、社会福祉法人はその地域の社会資源の一つであり、事業の継続性が求められていると考えております。恵正福祉会は「すべての人と共に歩む」という理念を掲げて事業運営を行っておりますが、その地域のニーズを把握し、共生社会の実現に向けた取り組みを行い、社会福祉法人としての役割を果たしていきたいと考えておりますので、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。



小規模だからできること

特別養護老人ホームめぐみ



特別養護老人ホームめぐみは40床(ショート含む)の小規模事業所です。小規模であるがゆえの課題もあります。逆に小規模だからこそできる取り組みを色々と考えています。

そんな取り組みの一つが「食事」です。ご利用者の中には食事をミキサー食で召し上がられる方もいます。

「ミキサー食」はご存じの方も多と思いますが咀嚼(噛むこと)や嚥下(飲み込む)機能が低下した方が食べやすいように食事をミキサーにかけてペースト状にしたもの

です。とろみをつけて食べやすいようにします。

たとえミキサーでペースト状になっていたとしても、召し上がられる方にとって、それは楽しみにしていた食事であり美味しく食べたいということに変わりはないと思います。

特別養護老人ホームめぐみでは、ミキサー食を召し上がられる方にも今まで食べていた食事と変わらないように工夫しています。

上の写真は行事食として提供された食事(お寿司)ですが、ミキサー食となっています。お寿司のネタの形に整形されていて見た感じは



普通のお寿司とあまり変わらないようにできています。

素材の形に作られたミキサー食をご覧になり、嬉しそうにお召し上がりになっているご利用者の姿を見ると、私たちも嬉しくなってきます。

わたしたちのちょっとした努力で、ご利用者が「嬉しい」「楽しい」と感じていただけるのであれば、それは頑張っけて続けていきたいと思ひます。

わたしたちのちょっとした努力で、ご利用者が「嬉しい」「楽しい」と感じていただけるのであれば、それは頑張っけて続けていきたいと思ひます。

特別養護老人ホームめぐみではご利用者の方に楽しんでいただけるよう各種イベントを開催しています。

40床という小規模事業所の特性を活かして、今後もアットホームな特養であり続けるために、色々な努力をしていきたいと思ひています。



グループホーム おれんじハウス

新たな気持ちで



まだ、年末の忙しい時期だった時におれんじハウスにいくと、職員の皆様は何か制作物を作っていました。

何を作っているのだろう、と思っけて見てみると、折り紙と習字をしていました。

折り紙の鶴がとてもよくできています。一枚の紙からこんなに素敵な鶴が出来上がるのはとても不思議です。

そして、習字です。こんなに字

が綺麗にかけたらどんなにいいだろうな...
と思っけて見ていました。

ご利用者の皆様はが一日仕事を終えて帰っけると、きつと正月用に作成された飾り物に気が付くと思ひます。

「あ、変わった」
「あの習字誰が書いたの?」
「これ鶴だよ」
そんなことを話してくれるでしょうか。

手作りの制作や習字を書いたいただくのは本当に感謝です。

何よりもご利用者の皆様は色々な気が付いて感っけてくれるのが嬉しいです。
ちょっとした飾り物ですが暖かさを感じたおれんじハウスでした。



素敵な一年になりますように

とごしの杜保育園

「今年も素敵な一年になりますように」
とごしの杜保育園では、園のすぐ近くにある神社へ、1歳児クラスのみinnで初詣に出かけました。

冬の澄んだ空気の中、小さな足でしっかりと歩く姿に、子どもたちの成長を感じます。神社に着くと、鳥居を見上げて「おー！」と声をあげる子、手を合わせる仕草をまねっこする子、砂利道の音を楽しむ子など、それぞれが自分らしい形で“新年の空気”を味わっていました。

3歳児クラスのお友だちは保育者と一緒に柄杓を持ち、水の冷たさを感じながら手を清めました。

神社では鳥居を見上げて「おー！」という歓声があがりました

お参りでは、保育者と一緒に手を合わせ、願いを込めました。まだ言葉にはなくても、子どもたちのまっすぐなまなざしがとても印象的でした。帰り道は、神社の階段や道の変化を楽しみながら、にこにこ笑顔で園へ戻りました。今年も、子どもたち一人ひとりの成長を大切にしながら、穏やかで楽しい毎日を過ごしていきたいと思います。



お水冷たいね！
3歳児クラスのお友だちは保育者と一緒に柄杓を持ち、水の冷たさを感じながら手を清めました。



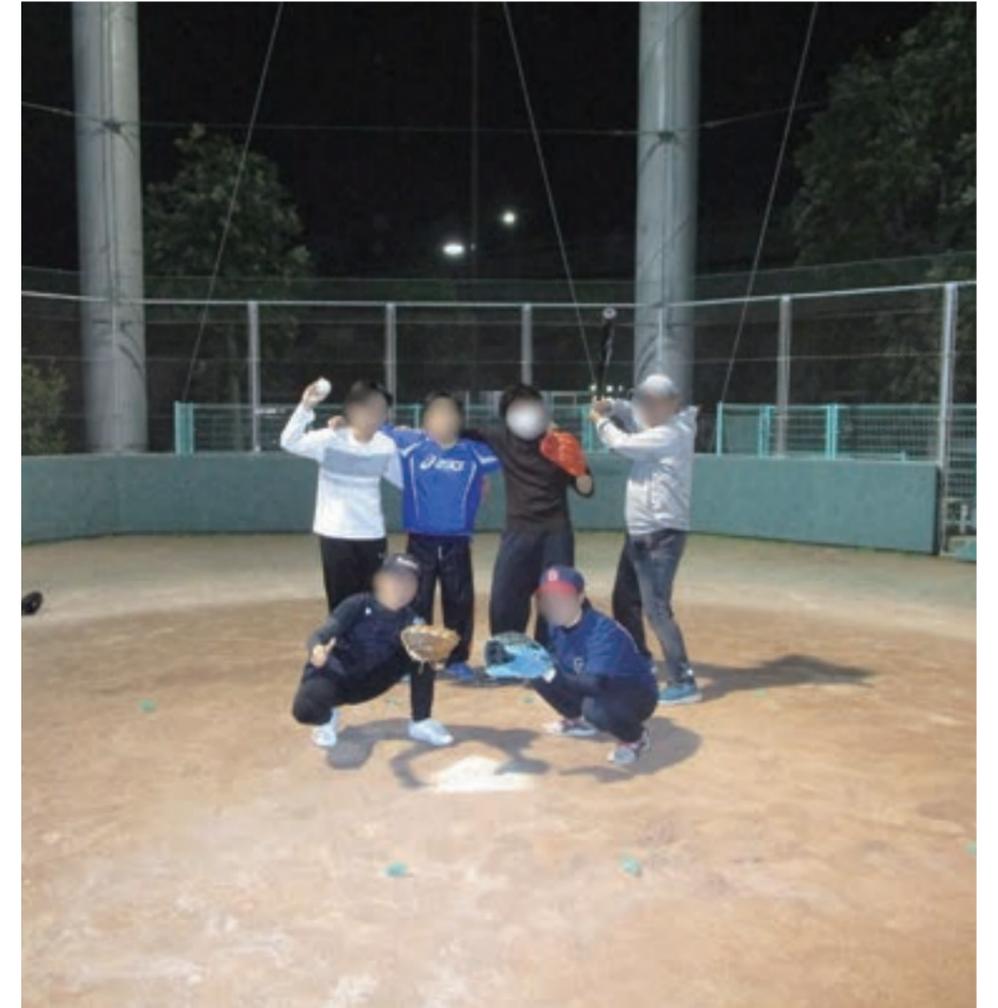
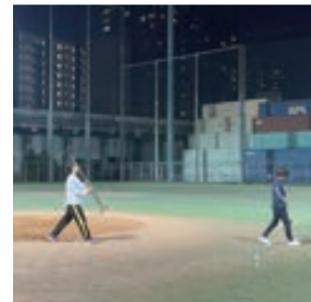
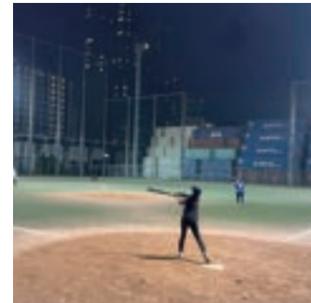
24\$

発足！！ 恵正ディアオール

恵正福祉会公式！ 野球クラブ！！

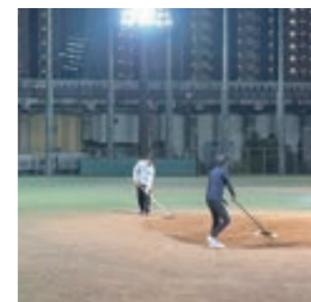
まずは基本から

野球の基本はノッキングだ。俺たちはこの基本から確認することにした。



使った後も丁寧に

恵正ディアオールは使った後の整備にも余念がない。「使う前よりも綺麗に」これがトップを志すもののあるべき姿なのだ。



かねてから、「やろう」と言っていた野球チームがついに法人公式チームとなって発足

その時がついに訪れた。俺たちはかねてから恵正福祉会の中で野球チームを発足させたいと願っていた。しかしながら新型コロナウイルスなどやむを得ない事情によりその願いは達成されることなく今日に至っていた。

ここに数名の勇者が立ち上がった。「今ならできろ」「難しいことはいい、とにかくやるんだ！」そして品川区内の野球場を借り、いざ野球チームを発足させたのだ。その名も「恵正ディアオール」。

恵正福祉会の重役方も法人公式野球チーム発足に大いに賛同され(と思っている)、公式チームの認定を受けたのだ(と思っている)。

恵正ディアオールは共に活躍する仲間を大募集しているぜ！！



広報けいせい

Keisei-fukushikai

発行
社会福祉法人恵正福祉会
神奈川県横浜市瀬谷区
阿久和南3-29-1
info@keisei-fukushikai.com

